

# 秋退教

No.68

2015年2月25日

秋田県退職教職員協議会

秋田市山王4-4-14

(県教育会館内)

よりよく生きるために  
高齢者福祉に  
関心を！

老いは輝くことだ

会長 長川村豊太



昨年九月に、  
柿崎貞治元委員  
長、そして十二  
月に平野雄元委  
員長が相次いで

逝去された。

柿崎先生は副委員長十二年、中央執行委員長十二年の二四年、昭和四十一年・二十二年日ストライキ決行とそれに続く処分撤回、和解闘争などに指導力を発揮された。平野先生は副委員長三年、書記長八年、委員長八年の十九年間。特に連合問題からむ日教組の混乱。全教の分裂での各県教組の混乱などを「秋教組は一体で」と組織をまとめたことや、日教組全国教研を秋田でやり遂げたことなど貢献は大きいものでした。秋教組の運動に力を注いだ御二方のご冥福を心からお祈りします。

むのたけじさんの百歳の記事があった。「今の日本は戦争のにおいがぶんぶんする。安倍晋三首相は八方美人でうまい言葉をつなぐが、肝心な要の所をぼかし、危うい」。相変わらず舌鋒鋭く小気味がいい。むのさんは何度も秋教組で講演されている。八十才をこえての講演で、用意した椅子を使わず、

「私は大丈夫だ」と私たちに大きな声で発破をかけていたのを忘れることが出来ない。「安倍首相を全面に出し、日本を変えようとする政治、経済界の勢力がある。誰が何を求め、何をしようとしているのか。特定秘密保護法制や集団的自衛権行使容認に戦争の影を感じる。」

全くその通りで、その言葉に頭が下がる思いがする。

伊藤正通候補を十分な応援もできないまま衆議院選挙を終えた。自民党の

教育の原点を見失わずに……

秋教組執行委員長 山縣 稔



常日頃から秋教組運動に多大なご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、県教委がまとめた「第二期あきたの教育振興に関する基本計画（仮称）（素案）」の中に、「教職員が子どもたちと向き合うことができる環境の整備」という項目があり、教員の多忙か防止策の推進や、労働安全衛生体制の充実などが盛り込まれています。

秋教組が長年課題としてきた要求が県の教育基本計画に位置づけられたこ

圧倒的勝利だった。安倍官邸主導の政治が強行されると、国政が私達が危惧する方向に進みそうだ。どうしたら歯止めをかけられるか。

四月に反撃のチャンスがある。統一地方選挙である。むのさんが言う。「老いは醜くなることなく、経験を積んで輝くこと。まだまだ生きる意味がある」と。

我々の経験を生かし、広い人脈で教え子や同僚に声をかけ、自民党そして安倍政権への反撃に力を注ぎたいものです。

とは、これまでの運動の成果ではあるのですが、県教委主導の「学力向上」施策のあり方を見直さない限り、根本的な問題解決にはつながりません。「グローバル人材」とか、「英語コミュニケーション能力日本一」などといった派手なスローガンを掲げるのではなく、現場の自主的なとりくみによる地道な実践を支援するという姿勢を県教委には求めていきたいと考えています。

敗戦から七〇年、憲法が危機にさらされ、教育が国策の道具にされようとしている現在、教育の原点を見失わずに秋教組運動を継続していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

### 現職退職者合同学習会

## 集団的自衛権行使容認と社会保障について

### 講演

十一月十三日(木) 県教育会館で現職・退職者合同学習会が開催されました。学習会は、日本退職教職員協議会の西澤 清会長から「集団的自衛権行使容認と社会保障について」の演題で約九十分講演していただき、その後質疑応答もあり充実した学習会でした。(出席者退職者二十三名・現職二十六名) 講演の要旨は次のとおりです。

#### 一、集団的自衛権が浮上した背景

○戦後米国はソ連を意識し、武力による世界制覇を企図しながら世界の警察的役割を果たしてきた。

○しかし、ベトナム戦争、イラクアフガン戦争等で膨大な戦費を使い国力は衰退し、それとともに警察的役割も弱くなってきている。

○ソ連は

崩壊したが、近年中国の軍事的・経済的台頭も著しく、警戒した米国はアジア市場への進出を狙いながら日本との同盟関係を強固にし、自国の戦略に応じて日本にも応分の負担をしてほしい、そのためにも日本に集団的自衛権行使ができるようにとの思惑が背景にあるものと考えられる。

#### 二、集団的自衛権と日本の憲法

○集団的自衛権行使容認を昨年七月一日閣議決定したとの報道で、行使容認はすでに決まったと思っている方もいますが、日本は立憲

憲法99条「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負う」

憲法12条「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によつて、これを保持しなければならない」

①我が国に対する武力攻撃が発生し

た場合のみならず、我が国と密接な関係にある他国に対する武力攻撃力が発生し、これにより我が国の存立が脅かされ、国民の生命・自由及び幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある場合に ②これを排除し、我が国の存立を全うし、国民を守るために他に適当な手段がない時に ③必要最小限度の実力を行使する。

主義の国です。立憲国家とは「三権分立の原則を認めた憲法に基づいて行われる政治」であり憲法九十九条や十二条で明らかです。だから「閣議決定」は国会を拘束するものではなく、行使容認のためには法制度を変えなくては施行できません。国会は結論を先に出し、強行に進める場ではない。だから今後の国会審議と絡んだ私たちの行使容認反対運動の役割は大きなものとなります。

※これまで日本が「立憲主義国だ」という認識の甘さがあったことは否めない。いろいろな機会に啓蒙すべきことです。

#### 三、集団的自衛権行使の三要件

○集団的自衛権閣議決定文書は、約八千字と九条から成り立っていますが、その後の国会審議をみるもの拡大解釈され、歯止めがかかっていません。

○三要件(囲い込み欄参照)にある「実力行使とは、武力の行使であり国際法上では個別・集団的自衛権・集団安全保障が含まれており、戦争であることは明白である。」また「我が国と密接な関係にある他国とは、米国などの同盟国のことであり、他国の戦争にも参戦しなければならないことが明記されている。」

さらに「武力行使のためには武器が必要」だが、武器製造や試験・破壊的使用などは米国との一体化が必要になり武器輸出三原則が根底から覆されることははっきりしている。

※すでに従来禁止されていた迎撃ミサイル「パトリオット2」の部品の米国への輸出と、F35戦闘機搭載のミサイル技術をめぐる日英共同研究を認めている。

#### 四、自衛権行使容認反対にむけて

私たちは悲惨な第二次世界大戦の反省を基に、平和な社会実現のために様々な運動に取り組み一定の成果もあげてきました。しかし今また「教え子を再び戦場に送る」ような事態が発生しようとしています。こうした中で労組・市民・世界フォーラム(日退教も加盟)は「戦争をさせない千人委員会」を組織し、幅広い戦線(労働組合、退職者、市民団体、各級議員、元



講師の西澤氏



熱心に聴く参加者

議員、学識経験者、学生、現役)の基に、集団的自衛権阻止に全力を挙げて取り組んでいます。

### アベノミクスと社会保障 年金を株で運用

○年金について注目すべきことは厚労省は国民年金や厚生年金の積立金の投資配分を定める資産構成割合の見直しを認可したことです。積立金約一五五兆円のうち約一三〇兆円が年金積立金管理運用独立行政法人が運用しています。これまでの運用は国内債券や、国内株などに七割強、他は外国債や外国株などでありリスクのないよう運用してきました。しかし今回の見直しで国内債券の割合を低くし逆に国内株や国外債・株の割合を高く(最高約七割)運用できるようにしている。

○この運用では景気次第で年金積立金が減るというリスクもあり、これに伴って年金も目減りするという年金生活者にはとても許されることではありません。

※一方で厚労省は「マクロ経済スライド」を今年から取り入れ、年金支給額を下げるとしている。

※消費税増税分を社会保障の安定財源にするとしていたが、法人税減税の穴埋めにする案もでてくる等、認めることができない。

## 秋退教主催の親睦交流事業

### 囲碁大会

A 優勝 ○鷺谷 睦雄(大北)

- 期 日 9月11日(木)
- 会 場 県教育会館
- 参加者 Aクラス(無差別) 4名、Bクラス(二五段) 5名、Cクラス(初段以下) 4名、計13名。
- 戦 績(敬称略)



この一手はどうかな!

B 準優勝 近藤 響二(秋田)  
三位 ○土倉 和夫(本由)

C 優勝 ○大石 静夫(男湯南)  
準優勝 ○川村 豊太(秋田)  
三位 大沢 淳二(本由)

※東北ブロック大会(10/22仙台市)には○印の六名が出場。小林(Bクラス)と、大石(Cクラス)が優勝し全国大会へ、川村(Cクラス)は三位、大石は全国大会でも優勝。

### グラウンドゴルフ大会

- 期 日 9月30日(火)
- 会 場 潟上市天王グラウンド
- 参加者 各支部から 8チーム32名
- コース 4コース32ホール
- 成績(敬称略)

グラウンドゴルフは、心身の健康を高めプレーヤー相互の親睦を図るとともに健全で豊かな生活の向上をねらいと言われている。

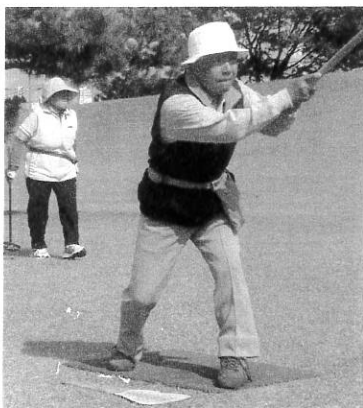
プレーするに当たっては、リラククスしてボールを強く打たないようにし打球のコースを決めホールの手前二米位にボールを止めるつもりで打つ。歩幅は、肩幅位に広げ左腕でスウ

### 楽しむこと

本荘由利支部  
中村 定次

イングをリードしながらボールから目を離さないで打つように心がけている。

グラウンドの芝生や傾斜などを見てボールに強弱をつけるようにしている。また、上手なプレーヤーのまねをするようにしている。勝負にこだわらずプレーを楽しむことであり練習を重ねることが上達していくことだと思ふ。楽しもう!!



ねらったところへ行け!

- ◇ 団体の部
  - 優勝 本荘由利A(三四九)
  - メンバー 中村 定次 五十嵐静也 高橋 清 小番 功
  - 準優勝 秋田A(三五二)
  - メンバー 工藤 宣一 工藤 文子 長久保克郎 矢田部幸三
  - 三位 能代山本(三五九)
  - メンバー 桧森 秀忠 柴田 正臣 梅田 喜孝 進藤日出男
- ◇ 個人の部
  - 優勝 鈴木 雫(仙北A)
  - 準優勝 中村 定次(本由A)
  - 三位 長久保克郎(秋田A)
  - ◇ ホールインワン賞
    - 仲村吉光(秋退教)、工藤宣一・中村定次・桧森秀忠・柴田正臣・長久保克郎・今野耕作(仙北B)、竹内滋美(仙北B)、内藤眞吾(秋田)、土田輝男(本由A)、進藤日出男・越後谷由夫(仙北B)、山田良夫・鈴木雫(仙北A)
  - ◇ ブリービー賞 池田信男(秋田B)

# 支部からの寄稿

### 生きる力

佐々木紀久男

## 能代山本支部

支部会員の中に九十歳以上の方が数名居るが、その中の一人は、あらゆる会に加入し、会合には必ず出席し、酒は人並み以上に飲みそれを生きがいにしてている。

もう一人は毎週碁をたのしみ、夏は十アール以上の畑を耕し、作物の出来具合を楽しんでいるそうです。

いずれにせよ、老人だからといって家にばかり居ず、外に出歩くことが長生きの秘訣でないかと思う。また目的を持って、次には「あれをしよう。」「これをしよう。」と思うことが病を追い払う一助にもなるのでないかと考えている。

それでも病気になる人はなるだろうが？ 私もガンの手術を二回したけれど、負けないように出歩くことを心がけている。

## 横手支部

### 視点を変えた

### 「現・退合同学習会」

阿部 和夫

「第四回現職・退職者合同研修会」を十二月六日に横手市・松興会館で開催した。今回は教育に視点を当て、講師に元横手市教育委員長の吉沢昂氏を迎え、「第三の

教育と私」の講話題のもと、一時間にわたり講話をしていただいた。

講話の概要は次の通りである。講題の「第三の教育」とは、社会教育や生涯教育のことである。秋田県の生涯教育を推進するため生涯学習奨励室（ブルーの窓口）を設置し、様々な事業を展開している。その中で「南コミュニケーション・カレッジ」の事業は、歴史・民族探究コースなど三コースを設け、講師の先生方のもと幅広い年代の受講生が学習にいそしんだ。学校教育とはまた違った味わいがある。

十名の出席者は、教育の奥深さを体験し、大変中味の濃い研修となった。講話のあとは、現職と退職者の意見交流を行い、貴重な時間を共有することができた。



第4回 現・退合同学習会の一コマ

## 湯沢雄勝支部

### 記念誌の発行と健康講座

佐藤 豊

#### 一、記念誌の発行

支部の別名を「ほだび」と呼んでいる。燃えさかる種火という意味を込めて。

記念誌は五年おきに出してき

た。戦後五十五年には特集号を出した。小見出しは「現地での体験・軍人志願」「学徒動員」「銃後の少年教師」「戦時下の学校」などなどついている。

装丁以外は会員の手でやっている。書き手は多い時は七十人もいたが今回は三十三人になってしまった。楽しみは出版を祝う会。会員の研究発表あり趣味の披露がある。盛んに杯を傾け意気軒昂である。

### 健康講座

講師には雄勝中央病院院長にお願いし、質問事項をあらかじめ提出してお話を聞いている。今回で十五年になった。

講演の題は「現代医学の動向」「地域医療」「高齢者の医療」など…。

主催は時には退婦教、革新懇と共催もしている。

### 我が支部が誇る「ふきのとう」

島内 重昭

年一回発行される文芸誌が「ふきのとう」。会員寄稿の文詩集であり、生きてる証の近況報告集でもある。一九八八年が創刊。発議の先輩には脱帽。今年で27号を迎えた。

これを紐解くと、扉が年間主要行事の写真集。木村副支部長の手腕に拠る。次に巻頭言、武石支部

## 大館北秋支部

## 鹿角支部

### 支部の目玉「小さな旅」

伊藤 正信

新年度一名加入し六三名の会員になった。小さい支部ですが、まとまりながら支部運営に努めている。

会の行事の中にパークゴルフなど計画しているが、他団体との競合で単独では行っていない。「小さな旅」・「作品展」それに「学習

長の「秘密保護法 禍根を残す強行採決…」率直な硬筆であり、世相への鋭い指摘に感服する。



27号を迎え、歴史を感じる「ふきのとう」

会」などは定期的に行っており、すでに「小さな旅」と「退職教職員作品展（九回目）は鹿角市（花輪中心）の作品展に協賛し好評を得ている。何と言っても鹿角支部の目玉は『小さな旅』（退婦教合同）である。始めは近くの文化遺産を確かめ合おうというのが目標でした。最初は『大日堂』の由来を学ぶということで鹿角・比内の関連遺産を見学した。会を重ねることに範囲が広まり『東北三県内』（日帰り）に拡大しました。今年には青森県八戸市では川縄文館・八戸市博物館を見学（一七名参加）した。元学校の先生らしく説明を食い入って聴取していた。異口同音に縄文土器・土偶ともに形が崩れていないなあ：感想でした。旅につきものは『会食と懇談、そして買い物』など：旅を満喫した。我々は高齢者の団体です。あらゆる面で支え合い交流し元氣よく楽しくありたいと常々心掛けています。

**秋田支部**

**話題二つ**

赤田 芳明

○10月4日、横手支部主催の「いもの子会」に今年も参加させていただきました。毎年のごちそうになり「楽しいひと時」を



収穫したいもの子を前に笑顔の秋田支部会員

過ぎさせてもらい、感謝感謝です。長続きのコツは、頑張らない、反省しないです。

○10月16日、秋田市事務職員部OB親睦会を開催したところ、一四名の参加がありました。大先輩から今年退職した方々まで広く呼びかけました。（四〇名ほど）。案内だけで組織はありません。（会費はその都度精算）

その後、秋田市退教協に三名が加入しましたので大いに喜んでおります。諸行事、活動に顔出しするきっかけに結びつけば幸いです。二〇一四年～二〇二三年までは続けたいなあーとつぶやいています。



OB会 “飲むぞ”

**男鹿潟上南秋支部**

「生活優先」と「自然保護」  
泉 津太郎

今年、秋田魁新聞紙上に「シリーズ・次代を語る」で奥村清明さんが登場した。私は奥村さんとは高校・大学と同期であり、戦中・戦後、同じような生活体験をしていたことなども含めてとても懐かしく読ませていただいた。しかし白神山地のブナ原生林を守る運動にこれほど精神的に頑張っておられたとは全く知らなかった。当時は、たしか秋田県側は「生活優先」という名の下に青秋林道建設に積極的であり、青森県側が「白神山地を守れ」という運動が強かったなという認識でした。

その後、白神山地が世界遺産に登録されるようになってから、秋田県側でも「白神何々」という物産や「・白神」で観光宣伝をするようになった時、これが生活優先という名の変わり方か、と少し皮肉っぽく思っていたことを思い出していました。実は同じ頃、男鹿でも「日鉱増設問題（公害反対闘争?）」で市を二分する出来事がありました。私もその渦中において頑張っていたのですが、結果的に近くの海が埋め立てられ増設が行われました。それから数十年経って今年、その企業は男鹿における全ての事業を停止して去っていきました。工場跡地はそのま

**本荘由利支部**

**「フェア・プレー」**

桐田 賢二

月日は定かではないが、最近のことである。テレビのBS放送8チャンネルで「集団自衛権」に関わつての憲法論議が三人の論客でされていた。一人は東京大学教授で改悪反対。一人は愛媛大学教授で九条改悪論者。もう一人は慶応大学教授で憲法改正論者だが、安倍内閣の集団自衛権を閣議決定で変更したことに立憲主義に反すると異議を唱えている。

東大の先生は、学問的に論理的に、また、愛媛大学の先生は尖閣諸島でことが起きた時に警察では対応できないから自衛隊を軍隊にすべきだと論じる。多くは、このお二人のやりとりが多く、ときおり慶応大学の先生に司会者が振ってやるという進め方であった。

最後のまとめに論者の主張を紙に書いたが、慶応の先生は、「フェア・プレー」と書かれた。安倍総理が、外国では「積極的平和主義」と言つて集団自衛権の閣議決定を宣伝して歩いているが国内では多くを語らない。これは、アン・フェアだ。

国民の多くも同感だと思ふ。

ま。街中は過疎。一両者の決着はついているのでしょうか。...

仙北支部

やってみて、次へ

藤峯尉一郎

県の種々の会議等に出席した際、今、多くの支部で、会員の減少が悩みのひとつに挙げられる現状である。私の方も全体数から見ると減少が続いている。八十歳前後の加入者が多いなか、会員候補である瓢箪型年齢構成のせいか、現職の退職者は少ない。さらに、八十歳前後の方々の健康状態等により、会員から離れていく状況にある。また、若い方々の、縛られたくない思いなどにより、加入には、一考を要してしまう傾向にある。

そこで、当支部では、愚痴を言っても進展は図れないので、今まではという進め方でなく、退職時

の意識を率直に認めながらも、今後感じていく、語り合える仲間や意思疎通が図れる場のありがたさなど、退職後の生活の在り方（正論があるかはわかりませんが）を考えていく過程に関わる場でありたいと思う。そこで、即加入だけでなく、間接的加入をも意識し、前回、記述した登録制に加え、各活動への連れ添い参加を許容した活動を心掛けていく。その数年後加入が出て来、退職者が少ないなか、ほぼ、十名前後の加入を得ている。今は亡き、細谷昭雄国会議員の、「それは、いいなあ」というお言葉も受け、今後も、活動内容も含めた従来の考え方にとらわれず、やってみて、次のことを考える企画をしていきたい。

教職員共済

感謝される「贈与の有効活用」

教職員共済秋田県事業所事務局長 遠藤 元也

みなさんご存知の通り、二〇一五年一月より相続税の改正がスタートしました。基礎控除が縮小され、相続税を支払う可能性のある人が増えることになりました。相続というのは、遺族が「これは私の取り分」と権利を主張することでも憎しみや争いが生まれるのに対し、贈与は自分の気持ちで子や孫へストレートに伝わる。と

てもすばらしい税制度でもありません。少し内容を紹介しますと、①毎年百十万円を子や孫へ資金移転することで贈与税が免除。しかも申告の必要ありません。②マイホーム資金を一括援助すると千五百万円までの非課税枠拡大予定。③教育資金の贈与は、一人あたり千百万円を上限に非課税となってい

て、これも期間を延長する予定となっています。特に、この③の制度が人気で、今年九月現在で約九万件近くに到達し、さらに伸びる余地があるようです。このように概要を説明してきましたが、上手に贈与を活用すると、自分の財産を減らすだけでなく、子や孫からの感謝もある一石二鳥の制度ですので、一度検討してみてくださいいかがでしょうか。

2014年度 秋退教役員一覧

Table with 4 columns: 役職, 氏名, 支部, 氏名, 支部. Lists members of the 2014 autumn retirement teachers' association.

2014年度 各支部役員一覧

Table with 5 columns: 支部名, 会員数, 支部長, 副支部長, 事務局長/次長. Lists branch leaders and staff for 2014.

編集後記

◇昨年末の衆院総選挙、安倍首相の「ズル賢コサ」に負けたとしか言いようがない。誰もが関心のある景気回復を掲げ勝利したら本音の憲法改正に手を付けてきた。注

視ではなく、行動で反対の意思表示をしなければならなくなった。◇今冬も雪が多く、除排雪の作業中での事故も増えている。マスクミで報道されるのは、ホンの一部で腰痛・筋肉痛等で病院通いの会員も多いのではないかと思います。無理は禁物を合言葉にしよう。

◇今号は印刷会社を変更せざるを得なくなった。というのは私が前立腺ガン摘出手術のため年末年始に病院暮らしをしたためです。手術後、体調の良い時にベッドの脇で割付けなどをし、細かい事は全て川村会長に丸投げしました。寄稿者はじめ多くの協力で会報が発行できたことに感謝します。

(樋口)